



1月の園だより

令和7年12月26日(金) 羽茂こども園 副園長 吉田 歩

回覧



年末を迎えるというのに、冬らしさをあまり感じない1か月でしたが、年末にかけてようやく雪が降りそうです。子ども達にとっては、雪といえば雪合戦、そり滑りなど、楽しいことがいっぱいあるようです。来月以降の積雪に期待しています。

今月は楽しいことが盛りだくさんで、あっという間に1か月が過ぎたように感じています。13日に行われた生活発表会では、全員出席で、子ども達が思い思いの表現を楽しむことができました。

現在、インフルエンザ等の感染症が島内でも流行しています。手洗い、うがいを丁寧に行う他、食事、睡眠など生活を見直しながら子ども達だけでなく、大人も十分に感染対策等して、健康に過ごしていきたいですね。

1月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
1日	木	～4日まで 2・3号認定園児年始休暇 ～5日まで 1号認定園児冬季休暇	
7日	水	新年会(もちつき) / 行事食	全園児 / 全園児
12日	月	成人の日	
16日	金	おにまん作り / 誕生日給食	とき・かわせみ組 / 全園児
19日	月	個別懇談会(～30日)	とき組保護者
21日	水	フロアリズム運動	かわせみ組
22日	木	フロアリズム運動	とき組
30日	金	布団の手入れ	全園児(とき組を除く)

※避難訓練(地震による火災を想定)も行います。

2月の

主な行事予定

・3日(火) 節分会 ・13日(金) 保育参観・保護者会総会
・26日(木) おこしがた作り



7日に予定している新年会では、もちつきをして鏡餅を作る予定です。本物の杵と臼を使い、子ども達と一緒に楽しみたいと思います。

22日に予定しているおにまん作りでは、健康推進委員さんを迎え、地域食のおにまんを作って実際に食べます。地域とのつながりを嬉しく思います。

1月うまれの友だちを紹介します



☆ときぐみ(6さい)
かねこ すい さん

☆かわせみぐみ(5さい)
おおくら りつ さん

おたんじょうび
おめでとう!

☆つばめぐみ(3さい)
かわかみ にいな さん

☆あひるぐみ(2さい)
なかはま のぞみ さん

☆ひよこぐみ(1さい)
ひらた すい さん



生活発表会

12月13日に生活発表会を開催しました。たくさんの方にご覧いただく中、のびのびとして笑顔あふれる発表会となりました。子ども達に温かい拍手をありがとうございました。大勢の方の前で緊張もあり、ドキドキした様子の子どもの姿もありましたが、和やかな雰囲気で開催できたことをとても嬉しく思っております。

発表会後は、友だちの姿を見て刺激を受けたり、興味、関心をもったりして、やってみようとする子ども達の姿がたくさんの場面で見られました。

昨年も似たような子ども達の姿がありましたが、互いに興味をもって関わり合う子ども達の姿はこれからも大切にしたいところだと感じています。



ダンスをする年上の子の姿にあこがれて踊りに加わったり、演奏する友だちを見て、フライパンや空き箱など様々な物を叩いて音を発見したりする子ども達の姿からは、年齢を超えた遊び、生活のつながりが今後子ども達の成長のヒントになるのではないかと考えています。



子ども達一人ひとりの思いが絡み合いながら生まれていく遊びは、大人の想像を超えるものがたくさんあります。これからもそれぞれの思いに寄り添いながら、一瞬一瞬を大切に過ごしていきたいと思います。

はじめての鼓童

今年も鼓童のみなさんにご来園いただき、演奏を間近で見ることができました。目の前で響く音、美しい笛の音色に身を乗り出して聞き入っていた子ども達でした。普段の遊びの中でも太鼓などの演奏を楽しむ子ども達の姿を見ていると、太鼓などの楽器が子ども達にとって、とても身近な物になっていることを感じる今日この頃です。



クリスマス会

12月25日に、なんと羽茂こども園にサンタクロースがやってきました! サンタクロースはもちろん、トナカイたちも一緒に盛り上げてくれて、とても楽しいクリスマス会でした。サンタさんに会った子ども達の反応は様々でしたが、「(昨日)ぼくの家に来た?」「お腹おっきかった!」と、サンタさんにキラキラした目で話す子ども達の姿が印象的でした。



保護者会役員の皆さま、ご協力ありがとうございました。子どもたちにとって夢のような時間となりました!

今年も皆さまには羽茂こども園の教育・保育活動にたくさんのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

今年は今までになかった地域とのつながりも生まれ、子ども達の遊びがより豊かになったと思っております。これからも保護者の皆さまをはじめ、地域の皆さま方のご協力を賜り、子ども達の豊かな成長を支えていきたいと思っています。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

来年も子どもたちの笑顔と笑い声が響き渡る一年となるよう願っております。年明けに元気なみなさんに会えることを職員一同心より楽しみにしております。どうぞよいお年をお迎えください。

裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちらも合わせてご覧ください。



「はもちのほいく」 No.8

令和7年12月26日
園長 石木 むつみ

今シーズンの冬は暖冬なのでしょうか。12月とは思えない暖かな日が続き、子ども達が大好きな雪遊びも残念ながらお預けです。

今日はクリスマス。羽茂こども園にもサンタクロースとトナカイがやってきました。サンタクロースを見つめるキラキラした子ども達の瞳や、プレゼントをもらった後、誰に促されるわけでもなく、サンタクロースに「ありがとう！」と伝える子ども達の心に触れ、私たちはなんとしあわせな仕事をしているのだらうと改めて感じました。今しか味わえないファンタジーの世界に存分に浸かり、心を耕して、豊かな大人になってほしいと願うクリスマスです。

今月の一枚

「サンタさん、今日〇〇（妹）が今日風邪で休みなんだけど、プレゼントある？〇〇の分もほしいんだけど…」と自分がプレゼントをもらった後にサンタさんに向かって一生懸命話す兄。優しさに心が温まりました。



「せかいをつくるひとになる」経験

“こどもは ほんをよみ おしばいをみて まつりや よりあいにさんかして しゃかいとであい
せかいをつくるひとになる”

これは、職員室の私のデスクのすぐそばに掲示してあるカレンダーに書かれている言葉です。このカレンダーには1989年に国連で採択された「子どもの権利条約 第31条」に関する内容が載っており、毎月、月初めにめくるたび、様々な言葉に出会い、心が動きます。



今月のこの言葉も私の心を大きく動かししました。様々な文化が人を作り、その人たちが世界を作っていくのだなぁと改めて感じる言葉です。私たち保育者が子どもと共に生活する中で、何を大切にしていけるのかを教えてくださいのような気持ちになりました。

はじめての鼓童



鼓童の演奏を真剣に聴き入る子ども達。何を感じているのでしょうか。

先日、この一文にあてはまるような、素敵な時間がありました。それは、佐渡の太鼓芸能集団鼓童による「はじめての鼓童」です。1時間弱の演奏の間、引き込まれるように聴き入る子ども達の姿がありました。

この時間の中で、子ども達が何を感じたか、本当の心の中はわかりません。「胸に響く〜！」「かっこいい！」と思ったことを言葉に出す人、言葉は発

せず、じっと聴き入る人、手拍子と共に体も動かしたそうな人、大太鼓の音の子守唄に、すやすや眠る人など、感じたことの表し方は人それぞれです。

クラスに帰ったあと、ダンボールで作った太鼓や、太鼓に見立てたフライパンを叩いて音を楽しんだり、鼓童のプレーヤーの方から紹介してもらった楽器（アंकフルン）をペーパーの芯や割りばしを使って作ったりするなど、演奏後も自分が感じ取ったことを自分なりの方法で表現する姿がありました。



見たことを形にしてみようと工夫しています。「これじゃ音がならないや」とも呟っていました。

「はじめての鼓童」の経験から、今回のように子ども達がさまざまな人と出会ったり、多くのことを経験したりする環境作りを、さらに意識していきたいと改めて思いました。

カレンダーの左下には、「子ども達は文化的な生活や芸術を通して、人間を探究し、社会を知り、自分たちの固有のアイデンティティを確認し、世界観を構築します。そのことによって、自分たちが所属する社会の発展と変革に、主体として参加していくことができるようになっていく、と、国連子ども権利委員会は説明しています。」と、書いてあります。

子ども達がこれからの一生の中で、人とのコミュニティを通し、様々なもの・こと・人に出会って、見て、学んで、自分なりに吸収しながら自己を確立していく。そして世界をつくる主体となる。そのために、子どもにとって必要なつながりを大切に、開かれた園であるよう、これからも環境を整えていきたいと考えます。

早いもので2025年もあと数日。今年も大変お世話になりました。まもなく迎える新しい年が、みなさまにとって素晴らしいものであるよう願っています。どうぞよいお年をお迎えください。



<引用・参考資料>

○国連子どもの権利条約・第31条 ワニブタカレンダー2025

特定非営利活動法人子どもと文化NPO Art.31

これは子どもが新しい社会と出会ったからこそその姿なのだと思います。新しい社会と出会った子ども達は自分なりに吸収したことを形にしようとしています。すぐに形にしなくとも、心の中にたくさんの経験が蓄積され、いつか表現するときが来るのではないのでしょうか。“数々の積み重ねを経て「世界を作る人となる」のだろうか”そんなことをはじめての鼓童を経験した子ども達の姿から感じました。